

➤ 19日 金曜

列王 I

8:12 そのとき、ソロモンは言った。

「【主】は、黒雲の中に住む、と言われました。

8:13 私は、あなたの御住まいである家を、確かに建てました。御座がとこしえに据えられる場所を。」

8:14 それから王は振り向いて、イスラエルの全会衆を祝福した。イスラエルの全会衆は起立していた。

8:15 彼は言った。「イスラエルの神、【主】がほめたたえられますように。主は御口をもって私の父ダビデに語り、御手をもってこれを成し遂げて、こう言われた。

8:16 『わたしの民イスラエルをエジプトから導き出した日からこのかた、わたしは、わたしの名を置く家を建てるために、イスラエルの全部族のうちどの町も選ばなかった。わたしはダビデを選び、わたしの民イスラエルの上に立てた。』

8:17 それで私の父ダビデの心にはいつも、イスラエルの神、【主】の御名のために家を建てたいという思いがあった。

8:18 ところが【主】は、私の父ダビデにこう言われた。『あなたの心にはいつも、わたしの名のために家を建てたいという思いがあった。その思いがあなたの心にあったことは、良いことである。

8:19 しかし、あなたはその家を建ててはならない。あなたの腰から生まれ出るあなたの子が、わたしの名のために家を建てるのだ。』

8:20 【主】はお告げになった約束を果たされたので、私は【主】の約束どおりに父ダビデに代わって立ち、イスラエルの王座に就いた。



そしてイスラエルの神、【主】の御名のためにこの家を建て、

8:21 【主】の契約が納められている箱のために、そこに場所を設けた。その契約は、主が私たちの先祖をエジプトの地から導き出されたときに、彼らと結ばれたものである。」

「主は黒雲の中に住む」とは、すなわち主は見えないお方であり、人間のや観察で知りうることのできない、超越的なお方であるということです。その主が、ご自身を現してくださるとは、驚くべきことです。自分で主やみこころ、また真理を分ったつもりにならないで、謙遜になりましょう。

ソロモンは「イスラエルの神、【主】がほめたたえられますように。主は…これを成し遂げて」と言い、この大事業を自分の功績にはしませんでした。そこにもまた主がソロモンとイスラエルを祝福した要因があるのです。

全ては主の計画であり、力であり、恵であることを、明かにしましょう。自分の力や人徳が何かを成し遂げたというような表現をしないように、気をつけましょう。それはむしろ自分を高めることになるのです。それが主の一貫した価値観です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

